

路面復旧構造図

【車道】

大型車交通量 台/日・方向	交通区分	A S 舗装			上層路盤	下層路盤	合計厚 c m	遮断層 砂 c m
		表層	中間層	基層	粒調碎石(25)	クラッシャーラン(40)		
		c m	c m	c m	c m	c m		
100 未満	N3 (L交通)	5			20	20	45	15
100以上 250未満	N4 (A交通)	5			25	30	60	15
250以上 1,000未満	N5 (B交通)	5		5	30	35	75	20
1,000以上 3,000未満	N6 (C交通)	5	5	5	30	55	100	20
3,000 以上	N7 (D交通)	5	5	10	50	55	125	30
A S 3 層		5	5	5	30	35	80	

* N5~7 表層部 … 密粒度アスコン 20mm

(舗装構成)

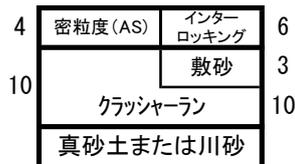


「福岡県積算運用の手引き」(H21.10.1)より

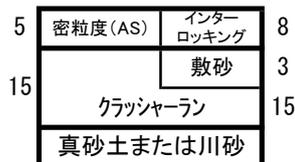
路線 番号	路線名	調査箇所		大型車	交通量= 左記合計 *1.04/2
		起点側	終点側		
385	一般国道385号	大川市下林		1015	528
385	一般国道385号			785	409
443	一般国道443号	三橋町白鳥		891	464
443	一般国道443号	柳川みやま市境	→ 209号	1678	873
443	一般国道443号	209号	→ 本吉小川	2664	1386
443	一般国道443号	有沿道路	→ 大和城島線	1862	969
18	大牟田川副線	柳川市田脇	→ 新田大橋 (AS ₃ 層)	1792	932
18	大牟田川副線	新田榎津線	→ 大詫間大川線	2520	1311
23	久留米柳川線	大木町大角 (AS3層)		1472	766
83	大和城島線	柳川市		1075	559
83	大和城島線	大木町前牟田		1194	621
702	柳川城島線	柳川市 (AS3層)		1544	803
702	柳川市城島線	大川市		1245	648
703	柳川筑後線	有沿道路	→ 久留米柳川	2514	1308
703	柳川筑後線	三橋町柳河		101	53
706	筑後城島線			930	484
714	高田柳川線	柳川市大和町六合		231	121
714	高田柳川線	柳川市佃町		652	340
716	水田大川線	大木町		655	341
716	水田大川線	大川市		244	127
716	水田大川線	有沿道路	→ 新田榎津線	1862	969
733	筑後柳川停車場線			172	90
765	鐘ヶ江酒見間線			1047	545
766	橋本辻町線			1474	767
767	本町新田大川線			110	58
769	新田西蒲池線			77	41
770	枝光今古賀線			1417	737
771	谷垣徳益線			1353	704
771	谷垣徳益線	有沿道路	→ 208号	2656	1382
772	徳益蒲船津線			2286	1189
773	木元白鳥線			28	15

【歩道】

(歩道)



(乗用等乗入部歩道)

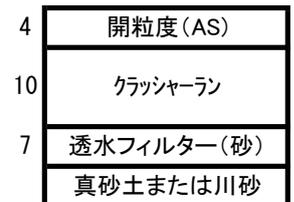


(普通貨物以上乗入部歩道)

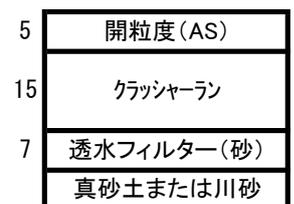


【透水性歩道】

(歩道)



(乗用等乗入部歩道)



* 改良済の舗装構成が分かっている場合は、既存構成で復旧すること。

* 不明の場合は上記を参考とするが、利用形態(車輛種類・重量等)により必要に応じて協議を行うこと。

路面復旧構造図

単位：cm

C交通 大型車1,000～3,000台/日(一方向)

本復旧		仮復旧	
5	密粒度AS改質(I)型	密粒度AS	3
5	粗粒度AS	粒調碎石	42
5	粗粒度AS		
30	粒調碎石		
55	クラッシャーラン (2層仕上)		55
真砂土(路床部は従前以上)			

L交通 大型車100台未満/日、歩道切下げ部

本復旧		仮復旧	
5	密粒度AS	密粒度AS	3
20	粒調碎石	粒調碎石	22
20	クラッシャーラン		20
真砂土(路床部は従前以上)			

AS3層

B交通 大型車250～1,000台/日(一方向)

本復旧		仮復旧	
5	密粒度AS	密粒度AS	3
5	粗粒度AS	粒調碎石	37
30	粒調碎石		
35	クラッシャーラン (2層仕上)		35
真砂土(路床部は従前以上)			

本復旧		仮復旧	
5	密粒度AS	粗粒AS	3
5	粗粒度AS	粒調碎石	42
5	粗粒度AS		
30	粒調碎石	クラッシャーラン	35
55	クラッシャーラン		
真砂土(路床部は従前以上)			

歩道 (切下げ部を除く)

A交通 大型車100台～250台/日(一方向)

本復旧		仮復旧	
5	密粒度AS	密粒度AS	3
25	粒調碎石	粒調碎石	27
30	クラッシャーラン		30
真砂土(路床部は従前以上)			

本復旧		仮復旧	
4	密粒度AS	密粒度AS	3
10	クラッシャーラン (4t以下車通行が見込まれる場合は15cm)	クラッシャーラン	11
15			16
真砂土(路床部は従前以上)			

- 密粒度AS = 13mm
※B、C、D交通については20mm。
 - 粗粒度AS = 20mm
 - 粒調碎石 = 25mmまで
 - クラッシャーラン = 40mmまで
- 一層当たりの仕上厚は
粒調碎石 = 15cm以内
クラッシャーラン = 20cm以内

【留意事項】

- ア 転圧は、各層ごと、十分に行うこと。
- イ 路床部がFe石灰処理されてる場合は、必ずFe石灰処理を行うこと。
- エ この舗装構成は標準図であり、掘削後の舗装構成を確認の上、現況以上の構成となるよう復旧のこと。
- オ 本復旧に当たっては、影響幅を必ず考慮するとともに車線単位で復旧すること。ただし、車道幅員が5.5mに満たない場合は全復旧すること。
- カ 歩道は全復旧すること。
- キ 仮復旧箇所については、陥没等がないよう雨天時の監視を行うこと。
- ク 復旧後の瑕疵は占有者において2年間担保すること。ただし、故意又は重大な過失による場合は、5年間担保すること。

占用工事等の復旧について

水道布設替工事等を行った後の、道路舗装の復旧について、写真管理に不備があるケースが見受けられるため、下記の通り写真管理を行うよう施工業者に指導をお願いいたします。

記

- ① 路床、路盤、舗装の各層毎の厚さ確認できるように、残尺及び掘り返しての厚さ(路盤のみ)の写真管理を行うこと。
- ② 路床、路盤が複数層に分けて仕上げる必要がある場合は、層毎の厚さ(残尺管理でもOK)が分かるように写真管理を行うこと。
【1層仕上がり厚：路床 20cm 下層路盤 20cm 上層路盤 15cm】
- ③ 仮復旧も同様に写真管理を行うこと。